

みなさん、お元気ですか？

最近では天気が良かったり、大雪になったりと体がついていけなくなりますがね。これからは、暖かい日が多くなりますので、春の足音を感じて過ごしてもらえたらと思います。

福幸ファームの世話人をしている村田孝さんと鈴木酒造店長井蔵の杜氏をしている鈴木大介さんから、今の気持ちを寄せていただきましたので紹介します。

東日本大震災及び原発事故から3年が経過しました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り致します。

この文章を書いている今日3月11日、NPO法人レインボープラン市民農場福幸ファームで酒米として栽培した「さわのはな」を使用して鈴木酒造店長井蔵さんに醸造していただいた純米吟醸「甦る」が販売になりました。

「甦る」は長井市に避難してきた方々と長井市のみなさん、福祉協議会のみなさん、多くの支援者の方々の力をお借りして栽培した酒米から作られた酒で、そこには震災を風化させないという思い、復興の一助でありたい等、関わった多くの人達の様々な思いが込められています。「甦」という文字は分解すると「更生=好ましくない生活態度が改まること。そのうえで、精神的、社会的に、また物質的に立ち直ること。」という意味を持ちます。

私がお酒作りに込めた願いはまさにこのことです。



原発事故に対する不安から避難してきた身とはいえ、今回の事故は誰かを糾弾してそれでおしまいにすればいいというものではないと考えている私は、私も含め、全ての日本人が2011年3月11日以前の生活の在り方や考え方を点検し転換する必要があると感じているからです。

私にとってそれはそれまでよりも少しだけでもいいから自然環境をいたわり、弱い立場の生命に寄り添うということです。

そのような場所として福幸ファームがあります。雪が溶けたら種まきの春はもうすぐそこまできています。来年またこのような思いが確認できるよう、酒米作り、野菜づくりに精進したいと思います。

是非みなさんもお参加下さい！



福幸ファーム世話人 村田 孝

浪江中学校卒業式に出席して

3月13日、浪江中学校卒業式。卒業生は、震災時小学校6年生で卒業式を前に、原発事故にて全国へ散り散りとなってしまった。新学期も近く、国の十分な指針も無い時期で、私自身もそうだったが、多くの保護者と子供たちは、不安定で流動的な状況のなか考えに考え、他の学校への転校を余儀なくされた。

そうしたなか、浪江町の小学校・中学校が、二本松市内の廃校となった学校を利用し、二学期の始業に合わせ、浪江小と浪江中を位置変更し再開することとなった。再開時、この卒業生は10名からスタート。少しずつ級友が増え卒業時は23名となった。通学はバスにて片道1~2時間掛かり、実に多くの時間を、多くの想いを共有しながら過ごしたに違いない。県内でもマンモス校と知られた学校が、40名に満たない小規模校となり、野外での活動もままならず部活動も制限された。新設のバドミントン部と特設の陸上部しかないのだが、いずれも県大会に出場出来たのは彼らの努力の結晶であり、彼らが新たに作った歴史だ。かつての同級生達もそれぞれの環境で中学校生活を全うし、同じタイミングで卒業式の舞台に立っていることを思うと、子を持つ同じ親の立場としてつい涙が流れた。

よくこんな話を耳にする、避難先の入学式や卒業式に参加した保護者が、知り合いも無く式が終わると学校をすぐ後にするという。義務教育の過程のなかで地域コミュニティーが果たす役割は大きい。卒業生の別れの言葉は、全ての人たちに思いやりと感謝の気持ち、そして希望に満ち、会場の人々に響き万感の思いが溢れ涙を誘った。卒業生たちを送り出すための、自然と湧いた万雷の拍手は鳴り止まず、式の余韻に浸りながら、彼らの夢への歩みが確たるものになるよう願った。



鈴木酒造店長井蔵 鈴木 大介

～ 冬の交流会を行ないました！！～

2月22日(土)に、老人福祉センターを会場に冬の交流会を行ないました。今回は、同日に雪遊びコースと温泉コースの2コースを、お昼は参加者みなさんでのもちの会食会を実施しました。天気にも恵まれ、雪遊びもそれほど寒くないと喜んでいましたが、インフルエンザのため欠席の方も出て、ソリすべりなど雪遊びコースは残念ながら中止となりました。

温泉コースは、卯の花温泉はぎ乃湯で、ゆっくり温まってきました。世間話から若いときの仕事など、訪問では聞くことができない話ができ、お互いの距離が縮まった気がします。お風呂上がりには、ブルーベリージュースなどを飲んで過ごしてきました。

昼食は、お雑煮・あんこ・じんだん・納豆の4種類のもち会食をしました。民生委員さんに協力していただき、準備はスムーズに進みました。

親子で参加された方に「いただきます。」を言ってもらい、会食がスタートしました。会食の途中、参加者の方に自己紹介をしてもらいました。民生委員さんの中でも自己紹介を下された方もいて、いい雰囲気での交流会ができたのではないかなと思いました。また、いちご大福も作りましたが、もちが固くなってしまい、伸ばすのに苦労しました。でも、それも含めて楽しく作ることが出来ました。

参加人数は少なめでしたが、なかなか会えない参加者の方同士、色々話しができた様子が伺えました。

次回も、このような交流会があった際は、みなさんの参加をお待ちしております。



ももキッズ&ママのご案内

毎月火・金曜日の午前中(10時～12時)に、中央児童センターで活動しています。福島から来ているお母さんとお子さんのサロンです。お母さんだけの参加でもいいですので、のぞいてみてください。

利用したい場合、事前に中央児童センターに連絡してください。当日の連絡でも大丈夫ですが、その場合は、9:30には先生が出動しますので、その時間以降に電話をお願いします。

☎(0238)
88-5616(直通)



3月の日程

18(火)まで使用可能です。19日～31日の期間は春休みの為、場所が変わります。

25日(火)・28日(金)
→老人福祉センター(面接室)：
一番手前の部屋です。

*4月からの実施については、3月の訪問時にみなさんのご意見を聞いて、検討していきたいと思っております。

あとかぎ 東日本大震災から3年経ちますが、訪問活動を続けていると、震災の復旧・復興は進んでいないと感じるのが実情です。3・11を風化させない！忘れないうちに肝に銘じて、今後も、ネットワーキングや情報をお届けしながら訪問させていただきます。